

令和7年度学校だより

学校教育目標

自主 責任 明朗

キャッチフレーズ

夢・自信・誇り



# 六中だより 4月号

開校46年目

〒352-0023 埼玉県新座市堀之内3-11-1

TEL 048-478-2764 FAX 048-482-0136

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/j-dairoku>

→第六中HP→



入学・進級おめでとうございます  
～「夢・自信・誇り」を育む学校を目指して～

校長 中島 豊

学校の前庭には、美化緑化委員会の生徒や学校応援団の皆様が植えてくださった花が美しく咲き誇っています。校歌の歌詞にある校庭の東側に植えられた「山桜」も、美しい花を咲かせています。この春、新入生 204 名を迎え、全生徒 666 名で令和 7 年度がスタートしました。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。2・3 年生の皆さん、進級おめでとうございます。

影山葉子校長の後任として、今年度から第六中学校の校長となりました中島豊です。どうぞよろしくお願いいたします。昨年度、影山校長が掲げた「夢・自信・誇り」というキャッチフレーズを今年度も引き継ぎ、学校経営を進めてまいります。8 日に行われた始業式と入学式では、このキャッチフレーズのうち「夢」についてお話ししました。

夢は未来への希望であり、私たちが進むべき道を示してくれる大切な指針です。明確な目標と手立てを定めて実行し、夢を実現させることができたなら、素晴らしいですね。MLB の大谷選手は高校 1 年生の時に「プロ野球 8 球団からドラフト 1 位指名を受ける」という目標を掲げ、そのための具体的な道筋を考えていたというのは有名な話です。しかし、最近では「ドリーム・ハラスメント（ドリハラ）」という言葉が耳にすることがあります。これは、夢を持つことを強要することで、

相手に苦しみを与える行為を指します。毎年、3 年生を対象に入試の面接練習を行っているのですが、「夢はなんですか？」との問いに自信をもって答えられる生徒はなかなかいないようです。「でっかい夢」を持つことは、意外と難しいことなのかもしれません。

私が生徒たちに願う「夢を持ってほしい」というのは、身近なことも含め「こういう自分になりたいな」「こういうことができたらいいな」というイメージを持って生活をしてほしいということです。それは、例えば、「引っ込み思案な自分を少し変えたい」とか「部活動で本気で県大会を目指してみたい」といったものでもいいでしょう。もちろん、「でっかい夢」を持てるなら、ぜひ持ってもらいたいと思います。

夢を持つことは人生を豊かにすると思います。大きさや形に関係なく、一人一人にとって意味のあるものです。どんなに小さな夢でも、それが心を動かし、日々の活力となるのです。また、自分の夢を大切にし、それに向かって努力する姿勢は、周りの人々にとっても励みとなります。

今、校長としての私の「夢」の一つは、生徒が夢をもち、学校全体が明るく前向きな雰囲気に包まれることです。そのために何ができるかを、校長として考え続けたいと思っています。